ハードウェア設置手順
クイックスタート

Avaya G700 Media Gateway
および
Avaya S8300 Media Server

555-233-150JA
第 6 版
2005 年 6 月

Copyright 2005, Avaya Inc.
本書の内容は著作権法上の保護を受けております。著者、発行者の承諾を得ず、無断で複写、複製をすることは禁じられております。

注意

本書に記載される情報は、印刷時点において完全かつ正確であることを期していますが、情報は予告なく変更される場合があります。

保証

米国アバイア社の本製品についての保証は、限定的なものとします。限定的保証の意味については、販売契約を参照してください。また、アバイア社の標準保証条項、および本保証における製品のサポートについては、下記のアバイアのウェブサイトにアクセスしてください。
http://www.avaya.com/support

料金不正使用防止

「料金不正使用」とは、無許可の者（貴社社員、エージェント、下請業者、貴社の業務を代行する人員以外の者）による貴社電気通信システムの無断使用のことです。ご使用のシステムには料金不正使用のリスクが伴い、万一料金不正使用が発生した場合には電気通信サービス関連の相当額の追加料金が生じうることにご注意ください。

アバイアの料金不正使用防止

料金不正使用の被害にあった疑いがあり、何らかの技術援助またはサポートが必要な場合、米国またはカナダからはテクニカルサービスセンター料金不正防止ホットライン（+1-800-643-2353）にご連絡ください。

免責

米国アバイア社によって行われたものでない限り、本書の原本に対するどのような改訂、追加、削除に対しても、アバイア社は責任を持ちません。顧客またはエンドユーザーによって行われた本書に対する改訂、追加または削除によって、またはそれらに伴って生じたすべての要求、訴訟、賠償、判決に対して、アバイア社、アバイア社代理店、アバイア社従業員は一切責任を持たず、それらに関するどんな補償もしません。

アバイアのヘルプライン

その他のサポート電話番号については、下記のアバイアのウェブサイトにアクセスしてください。http://www.avaya.com/support

次のリンクにアクセスしてください。

- 米国内の方は、[Support Tools] の下にある [Escalation Contacts] をクリックします。次に、ご希望のサポートタイプをクリックします。
- 米国外の方は、[Support Tools] の下にある [Escalation Contacts] と [International Services] を続けてクリックします。国際 COE（テクニカルセンター）の電話番号が表示されます。

電気通信セキュリティの提供

電気通信（音声、データ、ビデオ通信の）セキュリティとは、何らかの者によるあらゆる種類の侵入（すなわち貴社の電気通信装置の無断または不正のアクセスや使用）の防止のことです。

貴社の「電気通信装置」には、本アバイア製品ならびに、本アバイア製品経由でアクセスできるその他のあらゆる音声／データ／ビデオ装置（すなわち「ネットワーク接続装置」）の双方が含まれます。

「外部の者」とは、社員、エージェント、下請業者、貴社の業務を代行する人員以外の者のことです。対して「悪意を持つ者」とは、貴社の電気通信装置に悪意またはいたずらの意図を持ってアクセスする者（悪意などがない場合には使用を許可されている者を含む）のことです。

このような侵入は次のような理由から、同期（時間多重化や回線に基づく）あるいは非同期（文字、メッセージ、パケットに基づく）のいずれかの装置やインタフェースに対してまたは経由で行われると考えられます。

- 利用（アクセスした装置に特有の機能の）
- 盗難（知的財産、金融資産、料金機能へのアクセスなどの）
- 盗聴（プライバシーの侵害）
- いたずら（迷惑だが無害と思われる干渉）
- 危害（動機や意図にかかわらず有害な干渉、データの損失または改変など）

ご使用のシステムやそのネットワーク接続装置には、無断侵入のリスクが伴うことにご留意ください。またこのような侵入が発生した場合、貴社に対して各種の損失（人的／データのプライバシー、知的財産、資産、金融資源、人件費、訴訟費用を含むがこれに限定されないもの）が生ずる可能性があることも十分にご理解ください。

貴社の電気通信セキュリティに関する責任

本システムおよびそのネットワーク接続装置両方のセキュリティを確保する最終的な責任は、アバイアの顧客（貴社）のシステム管理者、同様の電気通信業務を行う社員とその上司にあります。以下の（しかしこれに限定されない）各種の資料や情報源から得た知識や情報を基にしてこの責任を果たしてください。

- 設置関連説明書
- システム管理関連説明書
- セキュリティ関連説明書
- ハードウェア／ソフトウェアによるセキュリティ・ツール
- システム管理者および同様の業務を行う社員で共有する情報
- 電気通信セキュリティ専門家

貴社の電気通信装置への侵入を防止するため、システム管理者および同様の業務を行う社員は以下の各項目を慎重にプログラムし、設定してください。

- アバイア社製の電気通信システムおよびそのインタフェース
- アバイア提供のソフトウェア・アプリケーション、その基礎となるハードウェア／ソフトウェア・プラットホームおよびインタフェース
- ご使用のアバイア製品にネットワーク接続されているその他の装置

TCP/IP ファシリティ

製品が保証されている動作性能を実現しているときであっても、製品の品質、信頼性およびセキュリティはお客様側のネットワーク環境（構成／設計およびトポロジー）に左右されます。

規格準拠

アバイア社は、この装置を不正に改造したことに起因する、あるいはアバイア社指定以外の接続ケーブルおよび装置で代用または取り付けたことに起因する、ラジオまたはテレビに対するいかなる干渉に対しても責任を負わないものとし、こうした無許可の改造・代用・取り付けによる干渉の是正措置は使用者の責任において行われるものとします。米国連邦通信委員会（FCC）規則のパート 15 に準拠し、使用者は、アバイア社が明示的に承認していない変更または改造を行った場合、この装置を運用する権限が無効になることについて十分認識しているものとします。

製品安全性規格

本製品は下記の該当する国際製品安全性規格に準拠しています。

電子装置の IEC 準拠（IECEE）CB-96A に記載されているすべての該当する全国の変更条項を含む、IT 装置の安全性、IEC 60950 第 3 版、または IEC 60950-1 第 1 版

IT 装置の安全性、CAN/CSA-C22.2 No. 60950-00/UL 60950、第 3 版、または CAN/CSA-C22.2 No. 60950-1-03/UL 60950-1

IT 装置の安全要件、AS/NZS 60950:2000

次の該当するメキシコ全国規格 1 つ以上：NOM 001 SCFI 1993、NOM SCFI 016 1993、NOM 019 SCFI 1998

このマニュアルで説明される装置には、クラス 1 レーザー装置が組み込まれている場合があります。これらのレーザー装置は、次の国際安全性規格に準拠しています。

- EN 60825-1、第 1.1 版、1998-01
- 21 CFR 1040.10 および CFR 1040.11

アバイア社の製品で使用されるレーザー装置は、通常次の条件で動作します。

標準的な中央波長	最大出力
830 nm ～ 860 nm	-1.5 dBm
1270 nm ～ 1360 nm	-3.0 dBm
1540 nm ～ 1570 nm	5.0 dBm

Luokan 1 Laserlaite

Klass 1 Laser Apparat

本書で指定していない手順を実行したり、指定以外の手順で調節、調整したりすると、有害な放射線を浴びる恐れがありますので、ご注意ください。レーザー製品について詳しくはお近くのアバイア販売代理店にお問い合わせください。

電磁適合性（EMC）規格

本製品は、次の国際 EMC 規格およびすべての該当する全国の変更条項に準拠しています。

IT 装置の無線障害の制限および測定方法、CISPR 22:1997、EN55022:1998、および AS/NZS 3548

IT 装置 — 耐性特性 — 以下を含む制限および測定方法、CISPR 24:1997 および EN55024:1998

- 静電気放電（ESD: Electrostatic Discharge）IEC 61000-4-2
- 放射線性耐性（Radiated Immunity）IEC 61000-4-3
- 電気高速過渡（Electrical Fast Transient）IEC 61000-4-4
- 雷電効果（Lightning Effects）IEC 61000-4-5
- 伝導耐性（Conducted Immunity）IEC 61000-4-6
- 本線周波数磁界（Mains Frequency Magnetic Field）IEC 61000-4-8
- 電圧降下および変動（Voltage Dips and Variations）IEC 61000-4-11

電力ラインの放射、IEC 61000-3-2: 電磁適合性（EMC）— パート 3-2: 制限 — 調波電流からの放射を制限

電力ラインの放射、IEC 61000-3-3: 電磁適合性（EMC）— パート 3-3: 制限 — 公共の低電圧電源供給システムの電圧変化、電圧変動およびちらつきを制限

米国連邦通信委員会（FCC）声明書

パート 15：

注記：この装置は、FCC 規則パート 15 で定義されるクラス A デジタル装置の規格に準拠することがテストの結果により確認されています。この規定により、装置を商業環境で使用する場合の電波障害に対する適度の保護が提供されます。この装置は無線周波数のエネルギーを発生、使用し、また放射する可能性があるため、設置および使用にあたり取扱説明書の指示に従わない場合、無線通信に支障をきたす恐れがあります。この装置を居住環境で使用する場合は電波障害を引き起こす可能性が高く、障害に対する是正措置は顧客負担となります。

パート 68：応答監視信号

適切な応答監視信号を提供しないような方法でこの装置を操作すると、パート 68 の規則違反になります。この装置は以下の場合に、公衆交換網に応答監視信号を送り返します。

- 被呼ステーションが応答した時
- オペレータが応答した時
- 加入者宅装置（CPE）ユーザーが管理できる録音アナウンスメントに迂回された時

公衆電話網にダイレクトインダイヤル（DID）呼が送り返されるたびに、この装置は応答監視信号を返します。例外として許可されるのは次の場合です。

- 呼が応答されない時
- 話中音が聞こえる時
- リオーダートーンが聞こえる時

アバイアは、この登録された装置は特番の使用により、ユーザーに州間オペレータサービスプロバイダへのアクセスを提供することが可能であると宣言します。テレマーケティング会社が、ダイヤルアクセスコードを阻止するためにこの装置を改造すると、1990 年制定の電話オペレータ消費者法違反になります。

リンガ電流値（REN）

MCC1、SCC1、CMC1、G600、G650 Media Gateway の場合：

この装置は FCC 規則のパート 68 に準拠します。この装置の背面、またはフロントカバーの内側にあるラベルには、FCC 登録番号、リンガ電流値（REN）、その他の情報を記載してあります。必要な場合には、電話会社にこの情報を提供してください。

G350 および G700 Media Gateway の場合：

この装置は FCC 規則のパート 68 および、端末接続管理協議会（ACTA）が採択した要件に準拠します。装置の背面にあるラベルには、他の情報とともに製品識別番号が次の形式で記載されています。例えば「US: AAAEQ##TXXXX」という識別番号では、## は小数点を省いたリンガ電流値（REN）を表します（例えば、03 は REN 0.3 を意味します）。必要な場合には、電話会社にこの番号を提供してください。

すべてのメディアゲートウェイの場合：

REN は電話回線に接続できる装置の数量を決定するために使用します。電話回線に対する REN が過多であると、装置が着信呼に反応する呼び出し音を鳴らさなくなることがあります。ほとんどの地域では、REN の合計は 5.0 を超えないようにしてください。REN 合計により算出される、回線に接続できる装置数を確認するには、地域の電話会社に問い合わせてください。

アナログまたはデジタルファシリティの中には REN を必要としないものもあります。

接続方法

この装置の電話網への接続を以下の表に示します。

MCC1、SCC1、CMC1、G600、G650 Media Gateway の場合：

メーカーのポート識別番号	FIC コード	SOC/REN/A.S. コード	コネクタ形状
構外／構内電話機	OL13C	9.0F	RJ2GX、RJ21X、RJ11C
DID トランク	02RV2-T	0.0B	RJ2GX、RJ21X
CO トランク	02GS2	0.3A	RJ21X
	02LS2	0.3A	RJ21X
専用線トランク	TL31M	9.0F	RJ2GX
基本インタフェース	02IS5	6.0F、6.0Y	RJ49C
1.544 デジタルインタフェース	04DU9-BN	6.0F	RJ48C、RJ48M
	04DU9-IKN	6.0F	RJ48C、RJ48M
	04DU9-ISN	6.0F	RJ48C、RJ48M
120A4 CSU	04DU9-DN	6.0Y	RJ48C

G350 および G700 Media Gateway の場合：

メーカーのポート識別番号	FIC コード	SOC/REN/A.S. コード	コネクタ形状
グランドスタート CO トランク	02GS2	1.0A	RJ11C
DID トランク	02RV2-T	AS.0	RJ11C
ループスタート CO トランク	02LS2	0.5A	RJ11C
1.544 デジタルインタフェース	04DU9-BN	6.0Y	RJ48C
	04DU9-DN	6.0Y	RJ48C
	04DU9-IKN	6.0Y	RJ48C
	04DU9-ISN	6.0Y	RJ48C
基本インタフェース	02IS5	6.0F	RJ49C

すべてのメディアゲートウェイの場合：

端末装置（例えば、メディアサーバーまたはメディアゲートウェイ）が電話網に損傷を与える場合、事前に電話会社からサービスを一時中止する必要があるかもしれないという通知があります。事前通知が実行可能でなければ、電話会社はできるだけ早く顧客に知らせます。また、FCC に苦情を申請する必要があると思われる場合には、苦情申請する権利に関する助言を受けます。

電話会社はファシリティ、装置、操作または手順を変更することがあり、このために装置の操作が影響を受ける可能性があります。このような場合には、電話会社は事前に通知し、顧客が必要な変更を行ってサービスの中断を防ぐことができるようにします。

万一、この装置でトラブルが発生した場合、修理または保証に関する情報については、テクニカル・サービスセンター（電話番号 1-800-242-2121）またはお近くのアバイア販売代理店までお問い合わせください。当製品が電話網に損傷を与えている場合、電話会社は、問題が解決されるまで装置の接続を外すように要請することがあります。

この装置を構内配線、電話網に接続するためのプラグおよびジャックは、FCC 規則のパート 68 ならびに、端末接続管理協議会（ACTA）が採択した要件に準拠する必要があります。該当規準に準拠した電話コードおよびモジュラープラグが本製品に付属しており、これは同じ規準に準拠した、互換モジュラージャックにも接続できます。修理はアバイアの認定を受けた技術者が行うことをお勧めします。

当製品は電話会社が提供するコイン式公衆電話で使用することはできません。共同加入線への接続には州税がかかります。詳しくは、州の公共事業委員会、公益事業委員会または企業委員会に問い合わせてください。

電話の受話器を使用する場合、当製品は、補聴器の取り付けが可能です。

設置と修理

装置を設置する前に、ユーザーはこの装置が地元の電話会社の設備に接続可能かどうか確認してください。また、装置は適正な接続方法で接続する必要があります。上記の条件に準拠していても、状況によってはサービスの劣化が防止できない場合があることをご承知おきください。

認可された装置の修理は製造元が指定する担当者の指示に従って行ってください。この装置に対してユーザーが行った修理や変更、装置の誤動作は、電話会社から装置を取り外すよう要求される原因となります。

規格準拠に関する宣言

米国 FCC パート 68 製造元の規格準拠に関する宣言（SDoC）

米国アバイア社は、本書で説明されている、TIA TSB-168 ラベル識別番号が付いた装置が、FCC の規則および規制 47 CFR パート 68 および端末接続管理協議会（ACTA）が採択した技術規準に準拠していることをここに証明します。

さらに、本書で説明されているアバイア社製のハンドセット付き端末装置が、補聴器適合性を定義した FCC の規則および規制パラグラフ 68.316 に準拠し、補聴器と適合性があると見なされることを断言します。

米国内責任担当者が署名した SDoC のコピーは、最寄りの販売代理店にお問い合わせいただくか、次のウェブサイトから入手可能です。
http://www.avaya.com/support

Avaya Media Server および Media Gateway 製品はすべて FCC パート 68 に準拠していますが、その多くは SDoC プロセスが規定される以前に FCC に登録されました。全アバイア登録製品のリストは、http://www.part68.org で、「Avaya」を製造元として検索すると表示されます。

欧州連合規格準拠に関する宣言

CE

アバイア社は、本書で説明されている「CE」（Conformité européenne）マークの付いた装置が、電磁適合性規格（89/336/EEC）、低電圧規格（73/23/EEC）を含む欧州連合の無線・電気通信端末装置規格（1999/5/EC）に準拠することを宣言します。

「規格準拠に関する宣言書」（DoCs）のコピーは、最寄りの販売代理店にお問い合わせいただくか、次のウェブサイトから入手可能です。
http://www.avaya.com/support

日本 VCCI クラス A

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

マニュアルのご注文方法

連絡先： Avaya Publications Center
電話：+1.800.457.1235 または +1.207.866.6701
FAX：+1.800.457.1764 または +1.207.626.7269

郵送先： Globalware Solutions
200 Ward Hill Avenue
Haverhill, MA 01835 USA
宛先：Avaya Account Management

E-mail: totalware@gwsmail.com

最新バージョンのマニュアルは、次のアバイアサポートウェブサイトから入手できます。
http://www.avaya.com/support

目次

第 1 章：設置サイトへ行く前に 7
本書以外のマニュアル 7
ライセンスファイル、ソフトウェア、ファームウェア 7
ラップトップ要件 8

第 2 章：装置の部品の確認 9

第 3 章：メディアゲートウェイの取り付け 15

第 4 章：Octaplane Stacking Module の取り付け 17

第 5 章：メディアゲートウェイの接続 19

第 6 章：S8300 Media Server の取り付け 21

第 7 章：メディアモジュールおよび拡張モジュールの取り付け 23

第 8 章：USB モデムおよび CD-ROM ドライブの取り付け 25

第 9 章：UPS の取り付けおよび電源の入力 27

第 10 章：ラップトップの接続 — S8300 を含まない G700 の場合 . . . 29

第 11 章：ラップトップの接続 — S8300 を含む G700 の場合 31

目次

第 1 章：　設置サイトへ行く前に

設置サイトへ行く前に、次の準備作業を完了する必要があります。

本書以外のマニュアル

次のマニュアルを入手します。

- G700/S8300 設置マニュアル：*Installation and Upgrades for Avaya G700 Media Gateway and Avaya S8300 Media Server*, 555-234-100。
- マニュアルライブラリ（CD 版からラップトップにインストールするか、アバイアお客様サポートのウェブサイトから入手する）：*Documentation for Avaya Communication Manager, Media Gateways and Servers*, 555-300-151。

ライセンスファイル、ソフトウェア、ファームウェア

Avaya S8300 Media Server および Avaya G700 Media Gateway を設置する前に、次の準備作業を完了する必要があります。

S8300 および G700 を設置する前の準備作業

1. 顧客と会って、**Electronic Preinstallation Worksheet**（EPW）の記入を完了します。EPW には、顧客のネットワーク設定や電話システム要件に関する特定の情報が含まれています。これらの情報は、Avaya Installation Wizard（AIW）を使用して Avaya IP ソリューションを設定するために必要な情報です。

   注記：

   AIW を使用するには、メディアサーバーにリリース 2.0 以降の Communication Manager をインストールしておく必要があります。メディアサーバーにリリース 2.0 以前の Communication Manager がインストールされている場合は、AIW を使用する前に Communication Manager をアップグレードしてください。

   注記：

   AIW の最新リリースは、英語のオペレーティングシステムしかサポートしていません。

2. AIW を使って、G700 の S8300 主コントローラに**基本トランスレーション**を生成する場合は、顧客名／ナンバーリストファイルおよびカスタムテンプレートも入手してください。これらのファイルをラップトップにコピーします。EPW には、顧客名／ナンバーリストファイルおよびカスタムテンプレートのインストラクションが含まれています。
3. 必要なライセンスファイルとパスワードファイルを Remote Feature Activation（RFA）（リモート・フィーチャー・アクティベーション）で入手するには、次の手順を実行します。
   - 主コントローラとして構成された S8300 では、ライセンスファイルを 1 つ。
   - AIW を使って、S8300 主コントローラに**基本トランスレーション**を生成する場合、2 つのライセンスファイルを入手する必要があります。
     - RFA 機能画面で FEAT_DADMIN を選択し、FEAT_DADMIN をオンにした状態でライセンスファイルを 1 つ作成します。
     - RFA 機能画面で FEAT_DADMIN の選択を解除し、FEAT_DADMIN をオフにした状態で、2 つ目のライセンスファイルを作成します。2 つ目のライセンスファイルを作成するには、Modify System Record（システムレコード修正）機能を使用します。この手順は、アバイア公認販売店の技術者が取り付けを行う場合には不要です。

   注記：

   各ライセンスファイルは設置作業中に使用されるため、慎重にラベルを付ける必要があります。

   - パスワード（認証）ファイルを検索します。
4. CD-ROM 上の最新バージョンのソフトウェアとファームウェアを入手します。
5. 設置に必要な場合は、サイトで使用する USB CD-ROM ドライブを入手します。TFTP サーバーがラップトップにインストールされていれば、このドライブは不要です。
6. AIW に加えて ProVision を使用する場合、技術者は通知を受けます。ProVision を使用すると、**Communication Manager** のすべてのトランスレーションをアップロードできます。AIW の ProVision 用オプションに関する情報は、EPW を参照してください。

ラップトップ要件

S8300 および G700 へのアクセスと、AIW の起動に使用するラップトップ PC は、次の要件を満たす必要があります。

- 800 x 600 以上のディスプレイ解像度
- 10/100 イーサネットカードをインストール済
- Windows 95 以降
- Internet Explorer 5.0 以降

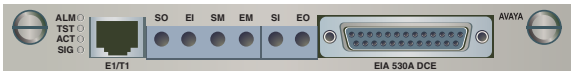
以上の準備がすべて完了したら、本書の説明に従って、製品ハードウェアの設置を開始できます。

第 2 章：　装置の部品の確認

以下の装置部品の一覧には、構成によっては不要な部品も含まれています。「オプション」と指定のある部品は、ユーザーの装置部品の目録には含まれないことがあります。

Avaya G700 Media Gateway シャーシ

Avaya S8300B Media Server
（オプション）

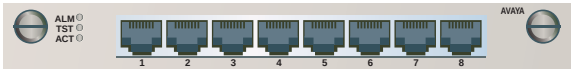


Avaya MM710 T1/E1 Media Module
（オプション）

Avaya MM711 Analog Media Module
（オプション）

注記：

Analog Media Module と DCP Media Module は外見が似ています。ラベルをチェックしてモジュールタイプを確認してください。



Avaya MM712 DCP Media Module
（オプション）

注記：

DCP Media Module と Analog Media Module は外見が似ています。ラベルをチェックしてモジュールタイプを確認してください。

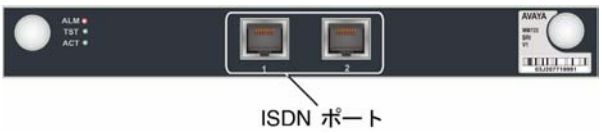
Avaya MM714 4FXS x 4FXO Analog Media Module （オプション）

Avaya MM717 24-port DCP Media Module（オプション）

注記：

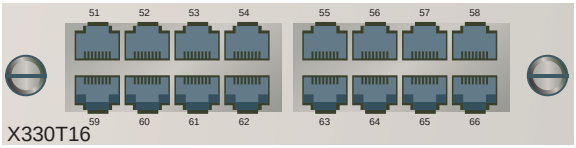
このメディアモジュールに接続するエンドポイントは、建物内に限る必要があります。

Avaya MM720 8-port BRI Media Module（オプション）



Avaya MM722 2-port BRI Media Module（オプション）

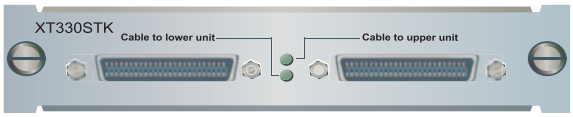
Avaya MM760 VoIP Media Module（オプション）



拡張モジュール（オプション）

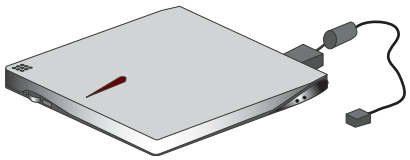
C360 統合積み重ね可能スイッチ（オプション）：
C363T/C363-PWR

C364T/C364-PWR



X330STK Octaplane Stacking Module（オプション）

USB モデム（オプション）
パーツ ID: 700235526

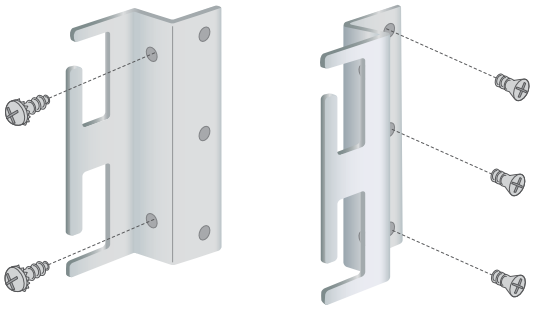


Teac USB CD-ROM ドライブ（オプション）
パーツ ID: 700289580

無停電電源装置（UPS）— AC 電源のゲートウェイのみ（オプション）

注記：

写真はスタンドアローン型 UPS



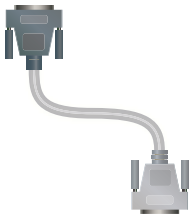
スクリューパックとラック取り付けブラケット

各取り付けブラケットの付属品

- 取り付けブラケットを G700 に固定する平頭ネジ 3 本
- 取り付けブラケットをラックに固定するロックワッシャーと丸頭ネジ 2 本

注記：

パックには、ブラケットをラックに固定する 4 つのサイズのロックワッシャースクリューが入っています。ラックの各ホールの大きさに合わせ、適切なサイズのスクリューを使用してください。

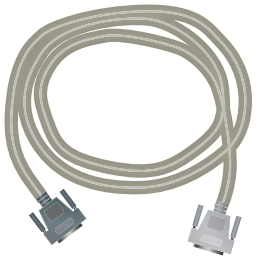


X330SC ショートケーブル（オプション）

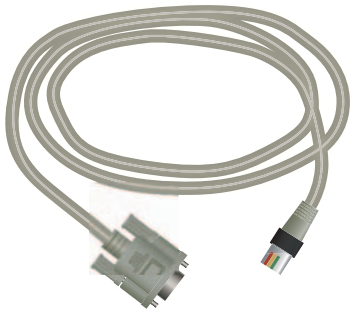
注記：

X330SC ショートケーブルは、X330STK Octaplane Stacking Module に付属して出荷される場合があります。

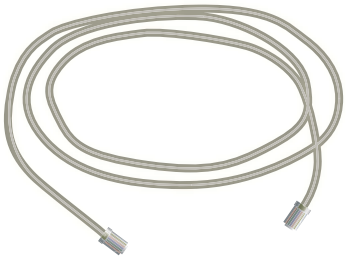
X330RC リダンダントケーブル（オプション）



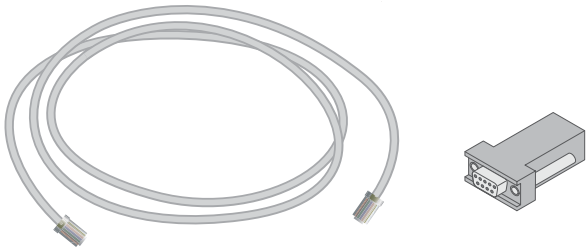
X330LC ロングケーブル（オプション）



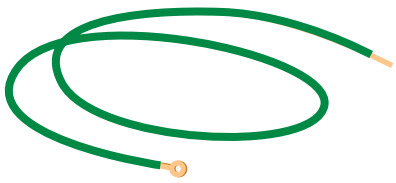
USB ケーブルと USB モデム用 アダプタ（オプション）



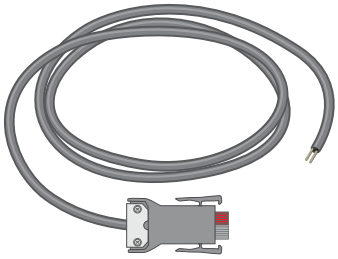
クロス・イーサネットケーブル（CAT5）



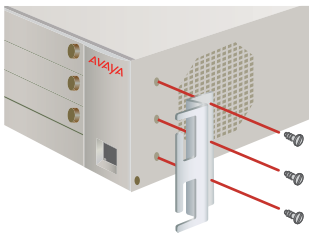
シリアルまたは「コンソール」ケーブルとアダプタ



アース線

AC 電源コード（オプション）	
DC 電源コード（オプション）	
脚（机上設置用）	

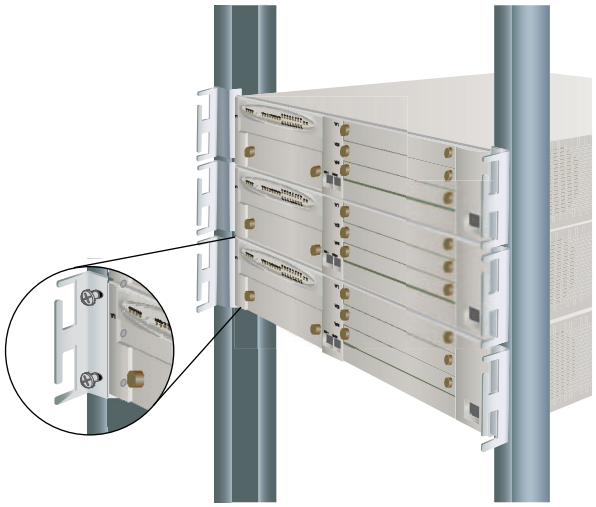
第 3 章： メディアゲートウェイの取り付け



1. 静電気防止用リストバンドを装着して、定格アースに接続します。
2. ラックに取り付ける場合は、取り付けブラケットパックから平頭ネジを取り出し、取り付けブラケットをゲートウェイシャーシの両側にそれぞれ固定します。

注記：

取り付けブラケットは、シャーシの中央部に固定することもできます。



3. メディアゲートウェイのシャーシを持ち上げてラックに載せ、各取り付けブラケットを 2 本のロックワッシャー付きネジで固定します。

注意：

メディアゲートウェイの重量には偏りがあるので、ラックへの取り付けには 2 名必要な場合があります。

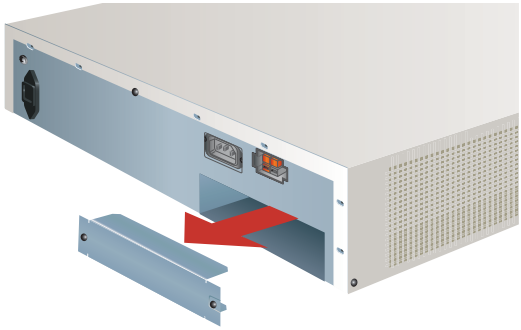
4. デスクトップへの設置。プラスチックのプッシュリベットを使って脚を取り付けます。

5. メディアゲートウェイの背面にあるアース導体にアース線を接続します。
6. アース線のもう一方の端を定格アースに接続します。

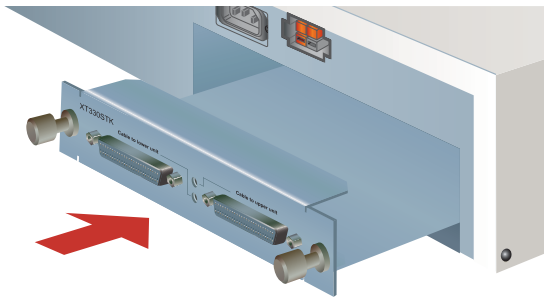
第 4 章： Octaplane Stacking Module の取り付け

注記：

次の手順が必要なのは、複数の G700 Media Gateway を積み重ねて接続する場合のみです。



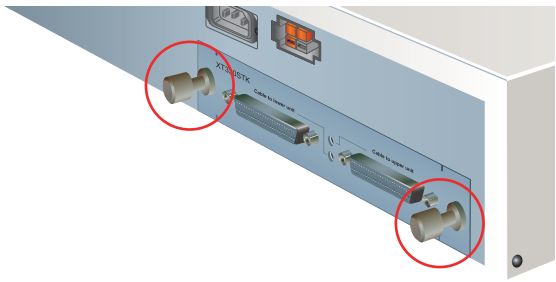
1. メディアゲートウェイの背面にある Octaplane 用スロットから、ブランクフェイスプレートを取り外します。



2. X330STK Octaplane Stacking Module を内側のガイドに合わせ、しっかり固定されるまで差し込みます。

⚠ 警告：

装置の損傷を防ぐため、モジュールはフェイスプレートや縁を持って扱ってください。

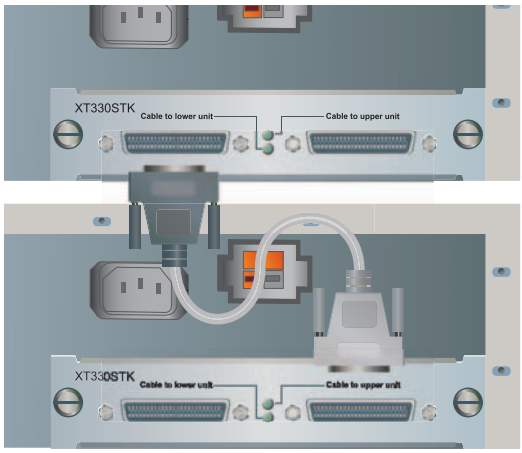


3. 取り付けネジを締めて固定します。

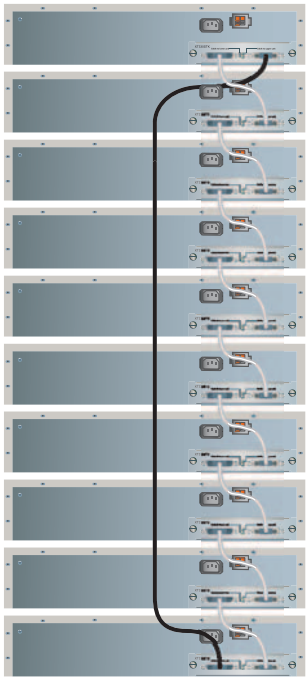
第 5 章： メディアゲートウェイの接続

注記：

次の手順が必要なのは、複数の G700 Media Gateway を積み重ねて接続する場合のみです。

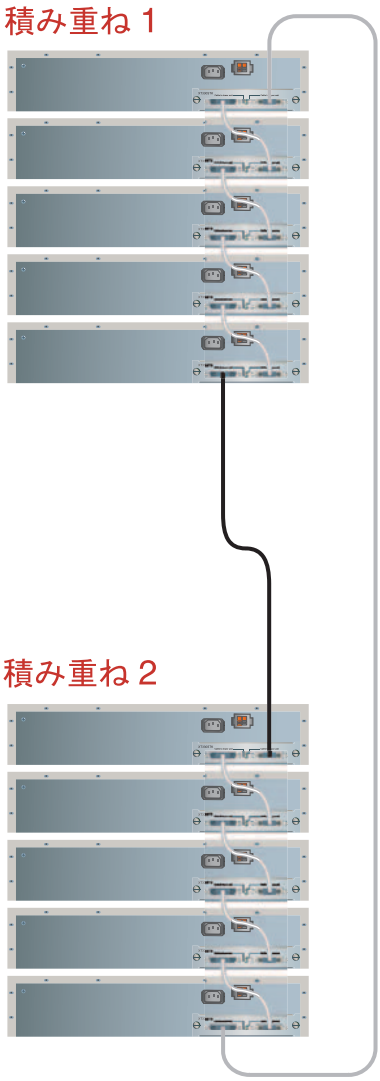


1. グレーの X330SC ショートケーブルを使用して、メディアゲートウェイを下から上に接続します。
   - 「Cable to upper unit」のラベルが付いたポートにライトグレーのコネクタを接続します。
   - 「Cable to lower unit」のラベルが付いたポートにダークグレーのコネクタを接続します。
   - 積み重ねたすべてのユニットが接続されるまで、以上の手順を繰り返します（最大 10 ユニットまで）。



単一の積み重ねによる冗長性

2. 単一の積み重ねに冗長性を持たせるには、黒い X330RC リダンダントケーブルで最上部と最下部のユニットを接続します。
   - 積み重ねの最上部ユニットにある「Cable to upper unit」のラベルが付いたポートに、ライトグレーのコネクタを接続します。
   - 積み重ねの最下部ユニットにある「Cable to lower unit」のラベルが付いたポートに、ダークグレーのコネクタを接続します。



複数の積み重ねによる冗長性

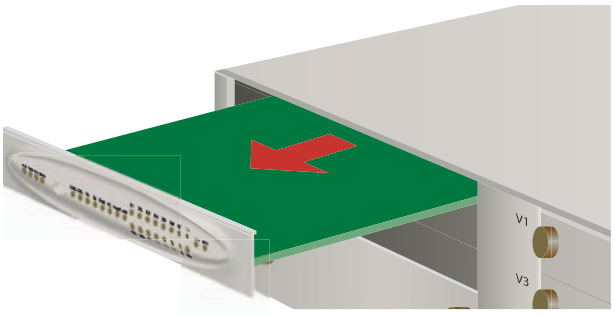
3. 複数の積み重ねに冗長性を持たせるには、黒い X330RC リダンダントケーブルとグレーの X330LC ロングケーブルで積み重ねを接続します。
   - 積み重ね 2 の最上部ユニットにある「Cable to upper unit」のラベルが付いたポートに、黒い X330RC リダンダントケーブルのライトグレーのコネクタを接続します。
   - 積み重ね 1 の最上部ユニットにある、「Cable to lower unit」のラベルが付いたポートに、黒い X330RC リダンダントケーブルのダークグレーのコネクタを接続します。
   - 積み重ね 1 の最上部ユニットにある「Cable to upper unit」のラベルが付いたポートに、グレーの X330LC ロングケーブルのライトグレーのコネクタを接続します。
   - 積み重ね 2 の最下部ユニットにある「Cable to lower unit」のラベルが付いたポートに、グレーの X330LC ロングケーブルのダークグレーのコネクタを接続します。

第 6 章： S8300 Media Server の取り付け

注記：

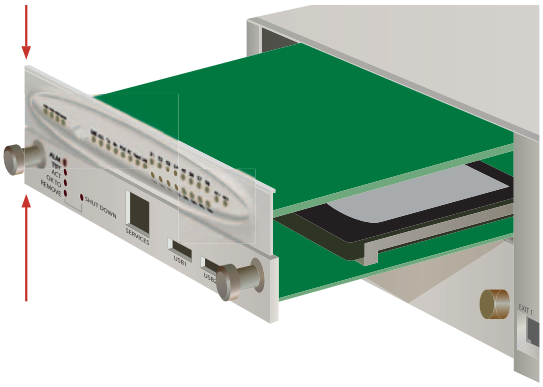
S8300 Media Server （主コントローラまたはローカルサバイバルプロセッサ構成）を取り付ける場合、次の手順に従ってください。

1. G700 Media Gateway の前面から、スロット V1 のブランクフェイスプレートを取り外します。



2. スロット V1（左上）から LED モジュールを取り外し、静電気防止バッグに入れます。

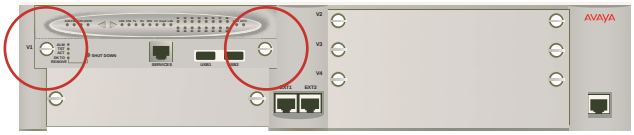
3. S8300 Media Server を内側下部のガイドに合わせ、スロット V1 に 5cm ほど差し込みます。



4. LED モジュールを内側上部のガイドに合わせ、フェイスプレートが S8300 Media Server の表面と揃うまで差し込みます。
5. 両方のモジュールを一緒に、しっかり固定されるまで差し込みます。

警告：

2 つのモジュールを同時に差し込まないと、機器を損傷するおそれがあります。



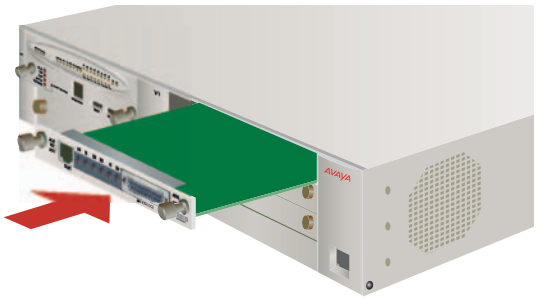
6. 取り付けネジを締めて S8300 に固定します。

第 7 章： メディアモジュールおよび拡張モジュールの取り付け

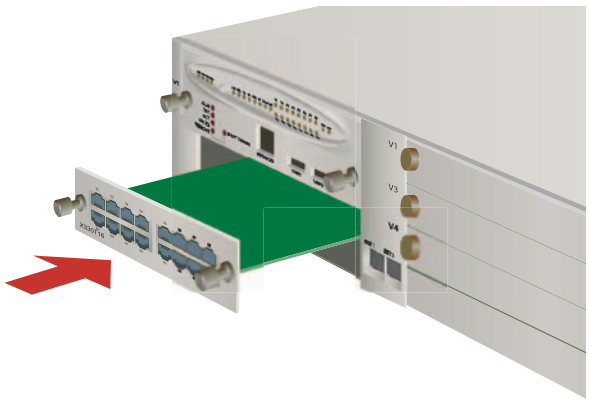
注記：

ゲートウェイごとに拡張モジュールを 1 枚、左下のスロットにのみ取り付けられます。S8300 が（左上の V1 スロットに）取り付けられている場合は、（右側の）V2 から V4 スロットに 3 枚までのメディアモジュールが取り付けられます。S8300 が取り付けられていない場合は、左上のスロット V1 に 4 枚目のメディアモジュールが取り付けられます。

1. メディアモジュールを取り付ける場合は、まず右上（V2 スロット）のブランクフェイスプレートを外します。

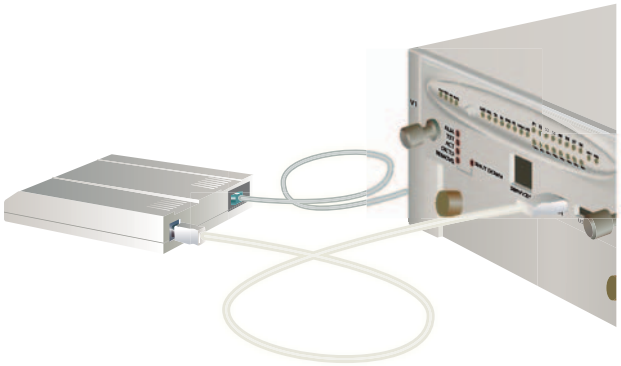


2. メディアモジュールを内側のガイドに合わせ、しっかり固定されるまでスロットに差し込みます。
3. 取り付けネジを締めて固定します。
4. 取り付ける各メディアモジュールで、手順 1 から 3 を繰り返します。



5. 拡張モジュールを取り付ける場合は、まず左下のブランクフェイスプレートを外します。
6. 拡張モジュールを内側のガイドに合わせ、しっかりと固定されるまでスロットに差し込みます。
7. 取り付けネジを締めて固定します。

第 8 章： USB モデムおよび CD-ROM ドライブの取り付け



USB モデム

1. USB ケーブルを S8300 のフェースプレートにある 2 つの USB ポートのどちらかに接続します。
2. モデムに同梱されている取扱説明書に従って、USB ケーブルのもう一方の端をモデムに接続します。
3. アナログ電話線をモデムの RJ-11 ジャックに接続します。

Teac USB CD-ROM ドライブ

S8300 ハードドライブを再構成する場合、この USB CD-ROM ドライブがソフトウェアのソースロケーションとして、主に使用されます。

1. USB ケーブルを S8300 のフェースプレートにある 2 つの USB ポートのどちらかに接続します。
2. USB ケーブルのもう一方の端を CD-ROM ドライブに接続します。

注記：

ラップトップに TFTP サーバーがインストールされていれば、S8300 ハードドライブを再構成する場合も、外部 USB CD-ROM ドライブの代わりにラップトップの CD-ROM ドライブを使用できます。

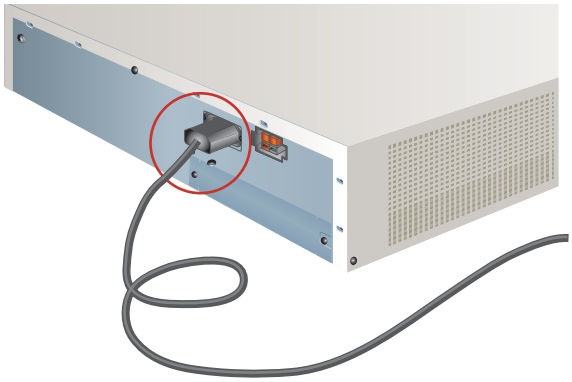
第 9 章： UPS の取り付けおよび電源の入力

UPS （AC のみ）

1. UPS は、AC 電源ゲートウェイのみのオプションです。G700 Media Gateway の背面から、メーカーの取扱説明書に従って無停電電源装置（UPS）を接続します。

注記：

写真はスタンドアローン型 UPS

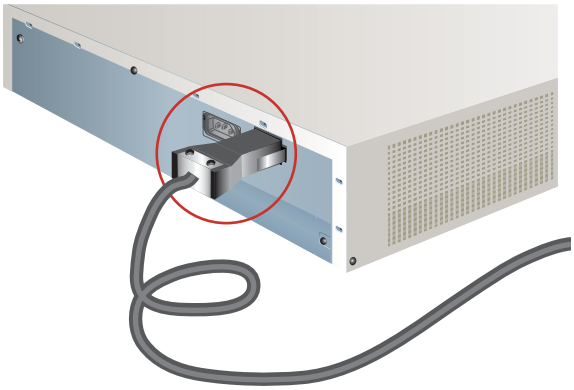


AC 電源

1. 各メディアゲートウェイに AC 電源コードを接続して、電源を入れます。

注記：

オン／オフスイッチはありません。接続されるとユニットに電源が入ります。



DC 電源

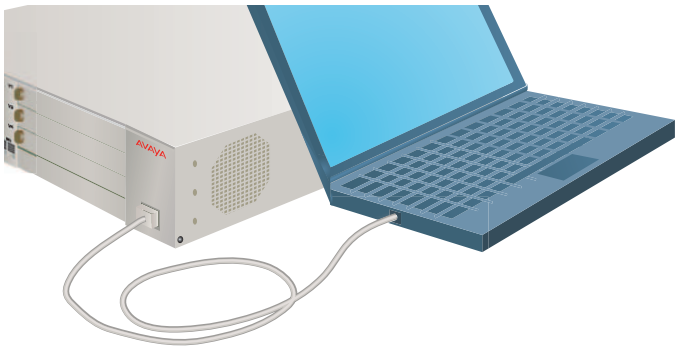
1. 各メディアゲートウェイに DC 電源コードを接続して、電源を入れます。

   注記：

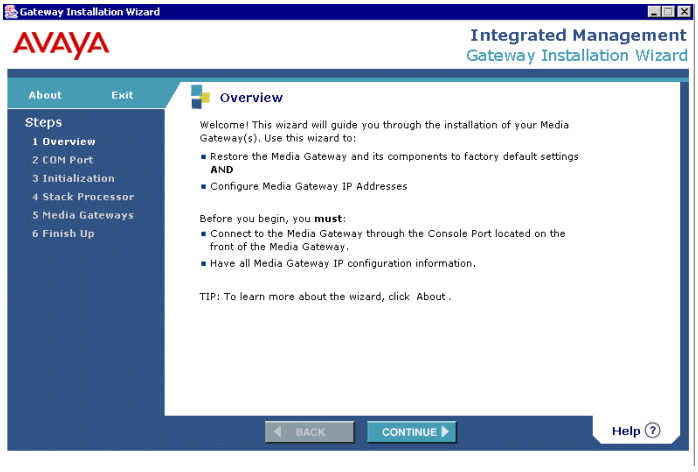
   オン／オフスイッチはありません。接続されるとユニットに電源が入ります。

第 10 章： ラップトップの接続 — S8300 を含まない G700 の場合

このセクションでは、S8300 Media Server を含まない G700 Media Gateway の、ラップトップの接続について説明します。ラップトップから Gateway Installation Wizard（GIW）を起動して、初期ゲートウェイ構成パラメータを入力します。

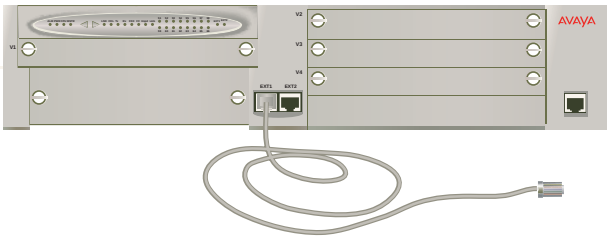


1. シリアルケーブルの RJ-45 プラグ端を、G700 前面右下のコンソールポートに接続します。
2. ケーブルのもう一方の端を、ラップトップのシリアルポートに接続します。



3. ラップトップの電源を入れます。
4. Hyperterm （または同様のアプリケーション）セッションを開始します。
5. GIW を起動します。

6. GIW の指示に従って構成パラメータを入力します。

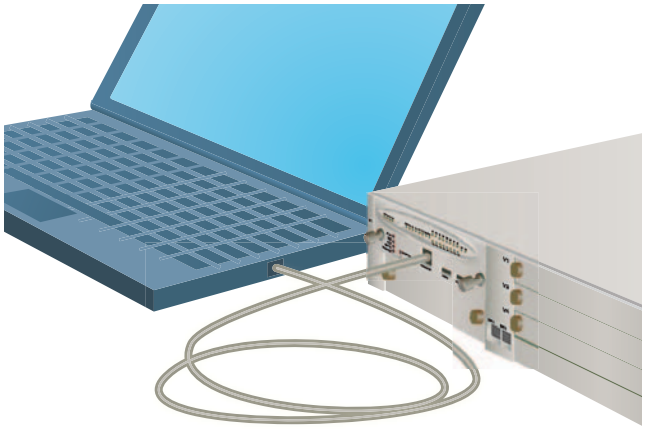


顧客の LAN への接続

1. ストレート・イーサネットケーブルを、G700 前面にあるイーサネットポート（Ext 1 または Ext 2 のラベル付き）のいずれかに接続します。
2. ケーブルのもう一方の端を、LAN コネクタに接続します。

第 11 章： ラップトップの接続 — S8300 を含む G700 の場合

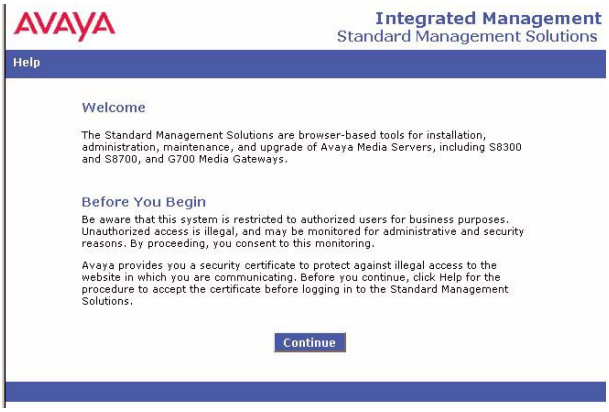
このセクションでは、S8300 Media Server を含む G700 Media Gateway の、ラップトップの接続について説明します。



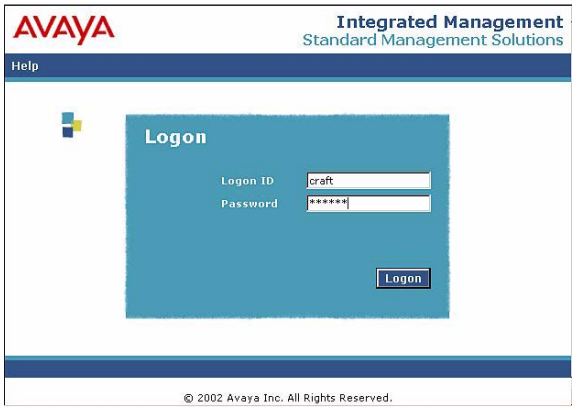
1. クロス・イーサネットケーブルを、S8300 Media Server フェースプレートのサービスポートに接続します。
2. ケーブルのもう一方の端をラップトップのイーサネットポートに接続します。

3. ラップトップの電源を入れます。
4. サービスネットワークの設定を確認します。
   a. IP Address：192.11.13.5
   b. サブネットマスク：255.255.255.252
   c. ドメイン名サービス（DNS）：disable（使用不可）
5. MS Internet Explorer を開き、プロキシサーバーを使用不可にします。
6. ブラウザのアドレスフィールドに次のアドレスを小文字で入力して、S8300 へのアクセスを開始します。

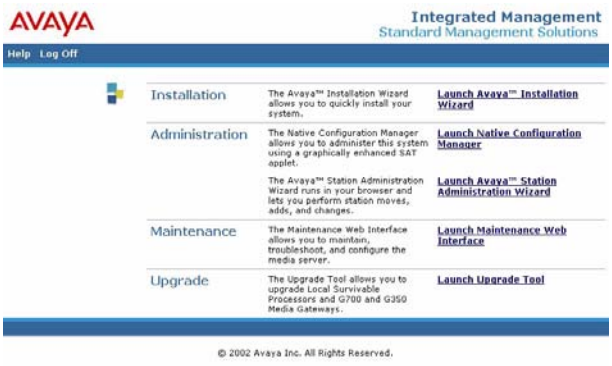
   http://192.11.13.6


AVAYA
Integrated Management
Standard Management Solutions
Help
Welcome
The Standard Management Solutions are browser-based tools for installation, administration, maintenance, and upgrade of Avaya Media Servers, including S8300 and S8700, and G700 Media Gateways.
Before You Begin
Be aware that this system is restricted to authorized users for business purposes. Unauthorized access is illegal, and may be monitored for administrative and security reasons. By proceeding, you consent to this monitoring.
Avaya provides you a security certificate to protect against illegal access to the website in which you are communicating. Before you continue, click Help for the procedure to accept the certificate before logging in to the Standard Management Solutions.
Continue

7. **Continue** をクリックして、ログオンページにアクセスします。
8. ログオンページが表示される前にセキュリティページが表示された場合は、適宜 **OK** または **Yes** をクリックします。



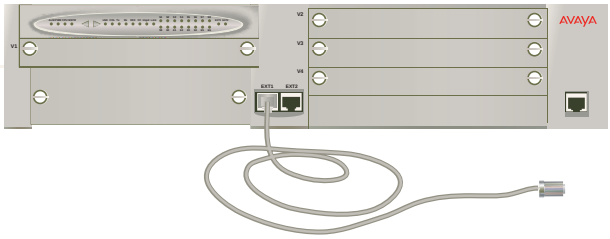
9. S8300 Media Server にログインする際は、初期インストール用の **craft** ログインおよびパスワードを使用します。


AVAYA
Integrated Management
Standard Management Solutions
Help Log Off
Installation
The Avaya™ Installation Wizard allows you to quickly install your system.
Launch Avaya™ Installation Wizard
Administration
The Native Configuration Manager allows you to administer this system using a graphically enhanced SAT applet.
Launch Native Configuration Manager
The Avaya™ Station Administration Wizard runs in your browser and lets you perform station moves, adds, and changes.
Launch Avaya™ Station Administration Wizard
Maintenance
The Maintenance Web Interface allows you to maintain, troubleshoot, and configure the media server.
Launch Maintenance Web Interface
Upgrade
The Upgrade Tool allows you to upgrade Local Survivable Processors and G700 and G350 Media Gateways.
Launch Upgrade Tool
© 2002 Avaya Inc. All Rights Reserved.

10. Avaya Installation Wizard（AIW）の使用。**Launch Avaya Installation Wizard** をクリックして、次の手順に進みます。

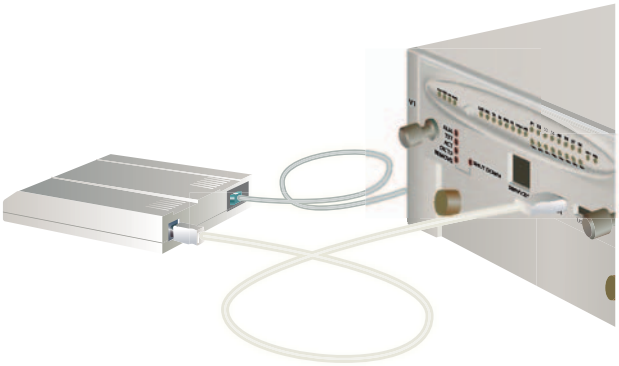
注記：

AIW を**使用しない**場合、詳しくは *Installation and Upgrades for Avaya G700 Media Gateway and Avaya S8300 Media Server*, 555-234-100 を参照してください。



顧客の LAN への接続

1. ストレート・イーサネットケーブルを、G700 前面にあるイーサネットポート（Ext 1 または Ext 2 のラベル付き）のいずれかに接続します。
2. ケーブルのもう一方の端を、LAN コネクタに接続します。



USB モデムの接続

G700 および S8300 をリモートで構成する場合は、USB モデムを接続します。

1. USB ケーブルを S8300 のフェースプレートにある 2 つの USB ポートのどちらかに接続します。
2. モデムに同梱されている取扱説明書に従って、USB ケーブルのもう一方の端をモデムに接続します。
3. アナログ電話線をモデムの RJ-11 ジャックに接続します。
4. Maintenance Web Interface ページで、Security Category の Modem を選択します。
5.「Enable modem for unlimited incoming calls 」ボックスを選択して、**Submit** をクリックします。